
自覚は大切！

迷い鳥

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

自覚は大切！

【Nコード】

N8177P

【作者名】

迷い鳥

【あらすじ】

自覚って大切ですよね、あなたはこんなことがないように気をつけてくださいね。あんまり無自覚だと。。。。。

気がつくのと、俺は家から歩いて5分ぐらいの道端に立っていた。

辺りは既に真っ暗だ、街路灯と近くの家の窓から漏れ出ている光しか明かりはない。

「さっさと家帰ってモン　ンしよっと」
そうひとりごちてから俺は歩き出した。

なぜか、あそこで立ち止まっていた理由は気にならなかった。

歩いていると向かいから自転車が走ってきた。無灯火で走っていたからなのか、それとも余程急いでいたのか、はたまた俺が避けると思っていたのか、全くスピードも落とさず端に寄ろうともせず歩道の中央をまっすぐに来たので、俺は慌てて車道の方に避けた。すると今度は車が走ってきた。突然飛び出してきた俺に気づかなかったのかこちらもブレーキを使うことなくそのままだったので今度も慌てて自転車が過ぎた後の歩道へと戻る。

家までは後はたったの5分だったにも関わらず、その後も歩き煙草のオッサンにぶつかりそうになったり、横に広がって歩いている兄ちゃんたちが一向に道を空けてくれず、なかなか進めなかったりと散々だった。

やっとのことで家の前に着いて門を開けようとする、今度は酔っ払いと思しき中年ぐらいのオッサンに痰を吐きかけられた。

「なにするんだっ」

すぐに文句を言ったが、相手はこちらを無視して千鳥足のまま歩いていった。

「この上着気に入ってたんだけどなあ……、あれ？」

今日着ていた上着はこんなに黒かっただろうか？ たしか水色のジャケットを着ていたはずなのに。

暗かったので気づかなかったが、こうして家の門灯で見ると……

「そっか、俺何やってんだろ」

なぜあそこで立っていたのか思い出した。俺はあそこで、

刺し殺されたんだった。

(後書き)

家に帰るときは何か考え事しながらで、特に道を意識しなくても家に着く、みなさんもありますよね、そういうこと。ないと言わないでください、寂しくなるので。

あんまり無自覚だとかういうことあるかもしれませんが。自分はこんなことに遭遇したことないのでわからないですけど。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8177p/>

自覚は大切！

2011年1月4日01時47分発行